

題材名「10がいくつ」

目標

- ・ (何十)と(何十)の合成ができる。

コンピュータを活用する利点

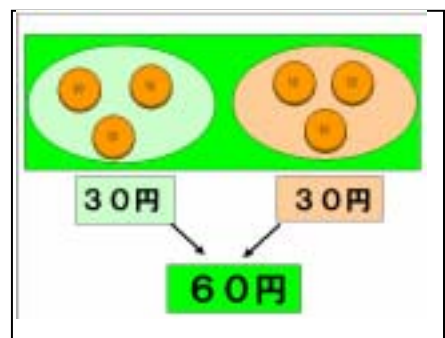
パワーポイントをプロジェクタで映し出し授業を進めていくことで、黒板に書く時間が短縮できるために、多くの練習問題にチャレンジできる。画像を示すことで視覚的に訴えることができる。また、具体物から抽象物へ徐々に変換しやすい。

授業の流れ



ICT 活用場面

黒板の代わりにプロジェクタを使用したため、授業全体を通して活用した。



成果と課題

成果

- ・ ICT 機器を使用することにより、いつもの黒板授業とは環境が違ったために、児童の関心を高めながら授業が進められた。
- ・ 黒板とは違い、あらかじめ練習問題や解説が準備できているので机間巡視の時間を多くとることができた。
- ・ いつもなら、練習問題を黒板に書き、繰り返しをしている。ICTを活用すると、書く時間が短縮されるために練習を数多くこなすことができた。
- ・ 具体的な問題から抽象的な問題へ自然と移行していくことができた。

課題

- ・ プロジェクタ等の機器準備に手馴れていなければ、直前の授業準備に時間がかかる。
- ・ 機器自体が大きいため設定に場所をとってしまう。
- ・ プロジェクタで授業するために、教室を薄暗くする必要がある。
- ・ ICT を活用した授業に関心が高く、興味を持ち、意欲的に授業に取り組んでいる児童ではあるが、確実に学習が身についているのかを確かめる必要がある

ICT 活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台 プロジェクタ
使用ソフト名	Microsoft Power Point
使用教室	普通教室